

第3回

与那原町水道事業経営委員会

本日の主な議題

- 経営戦略・水道ビジョン 概要説明
- パブリックコメント対応報告
- 答申案の確認

令和8（2026）年3月

与那原町上下水道課

本日の議題

1 経営戦略（R8-R17）概要版のご説明

計画期間、背景、4つの主要経営目標指標

2 水道ビジョン（R8-R17）概要版のご説明

3つの理想像（持続・安全・強靱）と13の目標設定

3 パブリックコメントの主な意見と回答

町民からの意見募集結果と対応方針について

4 委員長から町長への答申案のご確認・今後について

委員会としての結論と今後のスケジュールの共有

経営戦略の概要（令和8年度-令和17年度）

計画期間

令和8（2026）年度
令和17（2035）年度

策定の背景・前提

受水単価引き上げへの対応：沖縄県企業局の料金改定に伴う原価上昇
施設老朽化と耐震化：災害に強い水道づくりと適切な更新投資
需要見直し：給水人口・給水量は今後20年間「概ね横ばい」で推移

経営目標指標

①経常収支比率

100%以上

収益的収支において黒字を維持する（単年度収支の均衡）

②料金回収率

100%以上

給水原価を供給単価（料金収入）で賄う（独立採算の堅持）

③流動比率

100%以上

短期的な支払能力を確保し、資金ショートを防ぐ

④企業債残高対給水収益比率

150%以内

借入金残高を給水収益の1.5倍以内に抑える（健全性の維持）

投資計画の概要

第四次拡張事業

R7 (2025) ~R12 (2030)

- **板良敷配水池の耐震補強**
老朽化した配水池の長寿命化・耐震化を実施
- **中央監視・遠方監視設備の更新**
DX化を見据えた効率的な監視システムの導入
- **関連管路の整備**
拡張事業に伴う送配水管の布設・改良

管路耐震化・更新事業(年間約1.5億円)

R13 (2031) ~R17 (2035)

- **重要管路の耐震化**
基幹管路や避難所ルート等の耐震化を最優先
- **老朽管の計画的更新**
法定耐用年数超過管路の更新ペースを加速
- **有収率向上と漏水低減**
更新による漏水リスク低減で経営効率化

投資の基本方針



安全・強靱性の確保



ライフサイクルコスト最適化



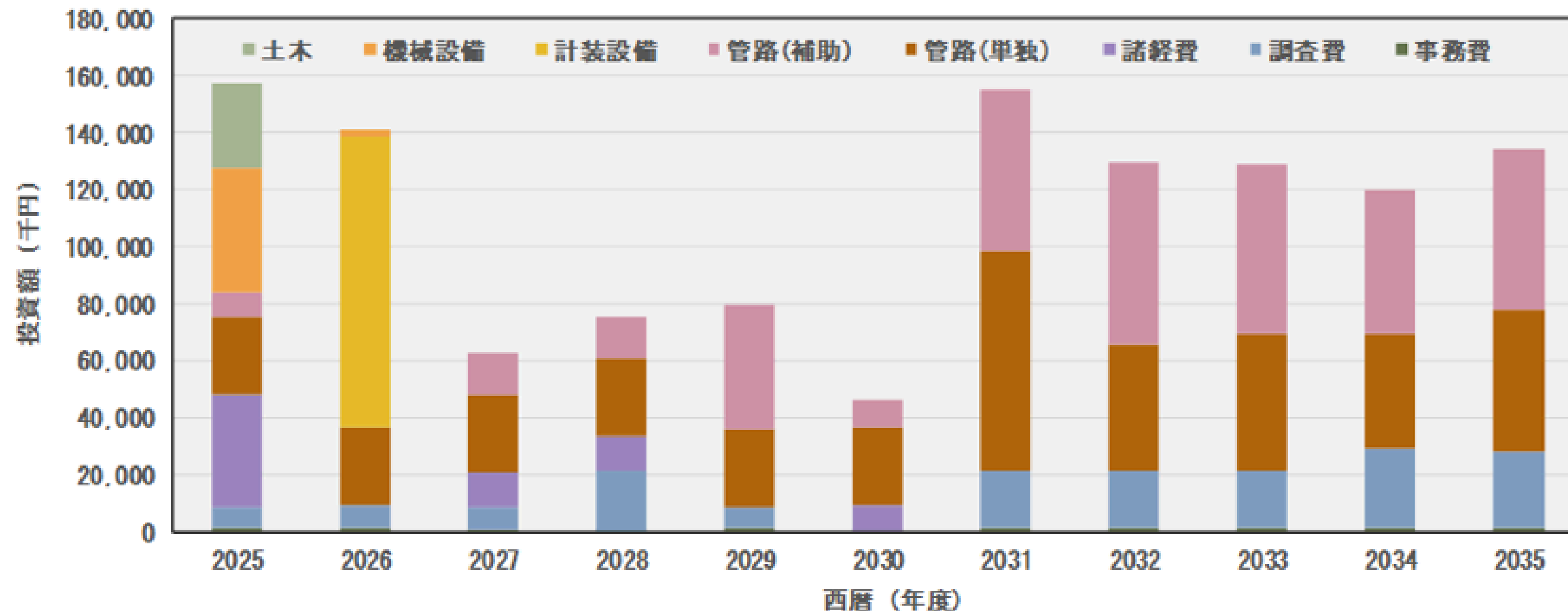
財政の持続可能性

将来の投資額

令和7（2025）年度～令和17（2035）年度

投資計画のポイント

- 令和7～12年度 第4次拡張事業が中心となります。
- 令和13～17年度 管路耐震化・更新事業がシフトします。
令和13年度以降は、年間約1.5億円の継続的な投資を見込んでいます。

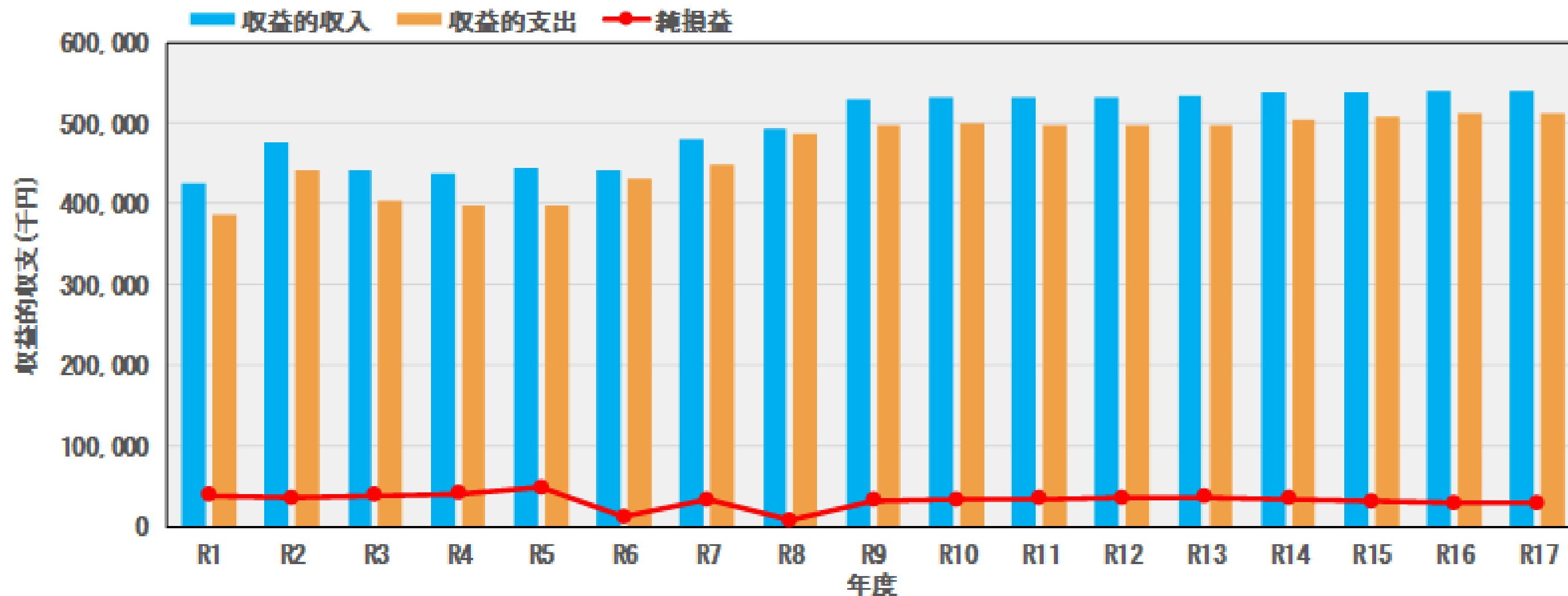


収益的収支の見通し

料金改定後は安定黒字へ

財政健全化への道筋

- 令和8年度 県企業局の受水費値上げに対応し、10月より料金改定を実施します。
- 令和9年度以降 料金改定の効果により、収支バランスが改善します。
純損益は年間約3,000万円の黒字を見込み、安定的な経営基盤を確立します。



資本的収支・資金残高の見通し

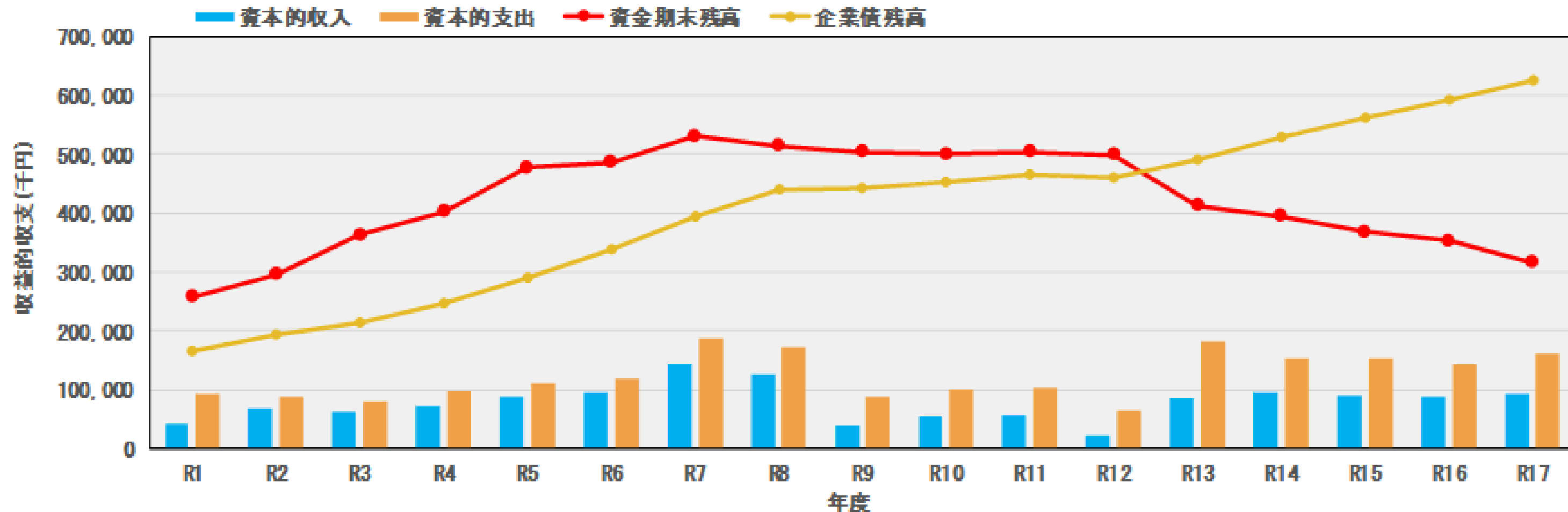
将来投資と健全経営の両立

持続可能な事業運営

○R13以降の投資 管路耐震化・更新事業により資本的支出が増加しますが、計画的に実施します。

○資金残高の確保 投資に伴い企業債残高は増加し、資金残高は徐々に減少していきます。

必要な更新事業を行いながら、適切な資金水準を維持し、安定した事業継続が可能です。



経営健全化の取組

受水費高騰への対応（水道料金の段階的改定）

沖縄県企業局の受水単価引上げに伴い、供給単価を見直し

第1段階：R7年10月（+18円/m³） 第2段階：R8年10月（+15円/m³）

民間活力の積極活用

専門性の高い業務や定型業務を外部委託し、職員業務を効率化
（水質検査、漏水調査、収納業務、検針業務、コンビニ出納など）

広域連携の推進

「沖縄県水道事業広域連携検討会」への参画

将来的な事務の共同化や経営統合の可能性について継続的に検討

アセットマネジメントの深化

令和4年度策定計画に基づき、資産状態を正確に把握

管路更新率の向上と、優先順位付けによる投資の平準化を推進

収納対策・利便性向上

スマホ収納（電子決済）等の導入による納付手段の多様化

ビジョン策定の背景と目的

策定の趣旨

本町では、送水ポンプ場や配水池の整備など初期の事業目標をほぼ達成しました。今後は、町総合計画「**みんなで創ろう 活気あふれる 美らまち与那原**」と整合性を保ちながら、持続可能な水道事業運営を目指し、中・長期的な方向性を明らかにする必要があります。

目指すべき方向性

利用者が安心して利用できる水道を持続させるため、**施設の更新・耐震化、災害対策、水質管理の高度化**を計画的に推進します。

「新水道ビジョン」との関係

厚生労働省が策定した「新水道ビジョン」の方針を踏まえ、水道事業者として自ら策定・推進することが求められています。

目標年次

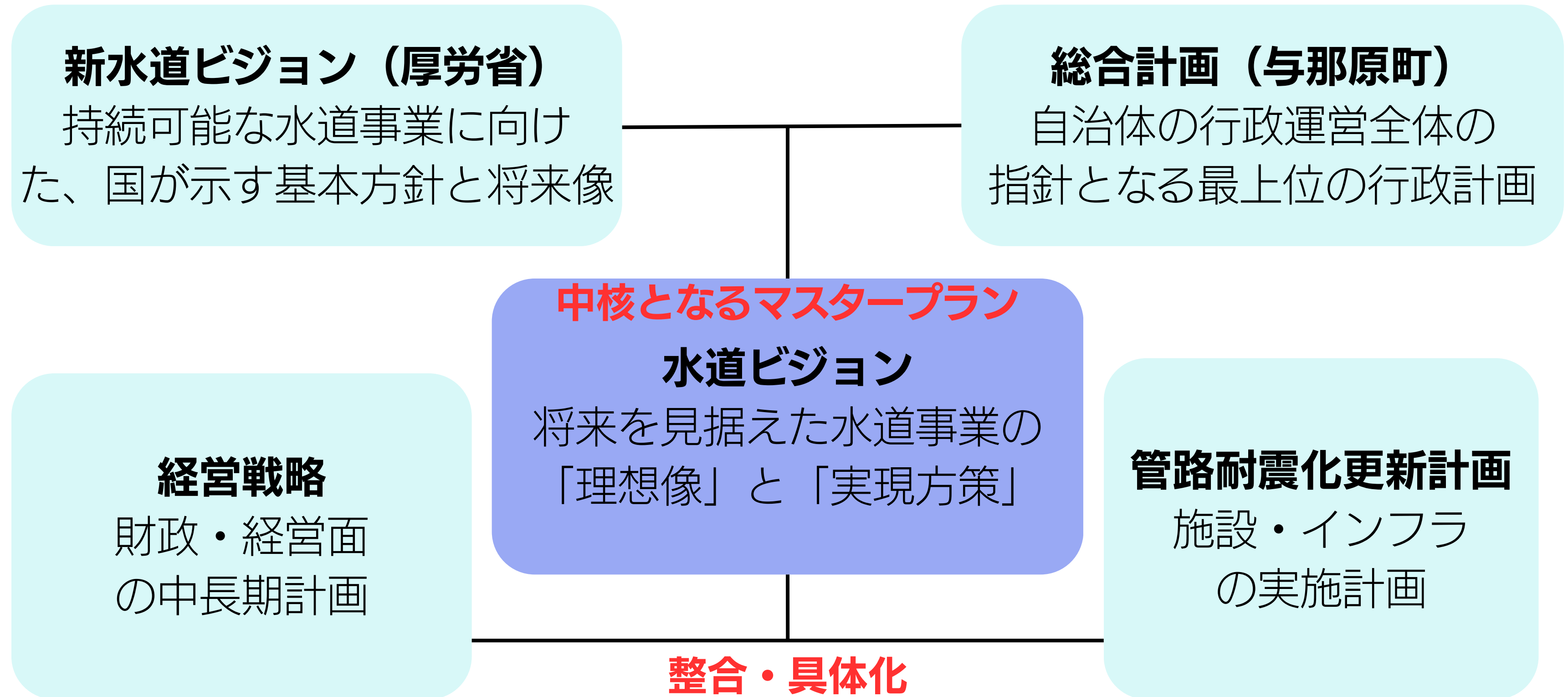
長期的な視点に立ち、将来にわたる水道事業の方向性を示すため、目標年次を設定しました。

2035（令和17）年度

継続的な改善（PDCA）

目標の達成状況や施策の実施状況を定期的に評価し、必要に応じて見直しや修正を行うことで、実効性を高めます。

水道ビジョンの位置づけ



水道ビジョンの概要（将来像）

みんなで創ろう 活気あふれる 美らまち与那原

～平和と文化・伝統を未来へ綱げて～

持続

～次世代への持続可能な水道～

- **人材の確保・育成**
技術継承と専門性の向上
- **適切な施設の更新**
アセットマネジメントの実践
- **健全経営の維持**
更新費用の確保と経費削減
- **収入基盤の強化**
適正な料金設定と収納対策

安全

～安全でおいしい水道～

- **赤水対策**
老朽化に起因する水質劣化防止
- **貯水槽の適正管理**
点検・清掃・検査の重要性周知
- **水質管理の徹底**
きめ細やかな水質検査体制

強靱

～災害に強く、たくましい水道～

- **重要管路の早期耐震化**
基幹管路・避難所ルートへの優先
- **災害対策の充実**
資材備蓄と指揮命令系統の確立
- **応急給水体制の整備**
地域住民との連携強化

FUTURE VISION

安心・安全で持続可能な地域水道

2035(令和17)年

町総合計画と整合性を保ちながら、信頼される水道事業を次世代へつなぎます。

当面の優先事項

- **老朽管の計画的更新**
更新率1.0%以上の確保
- **重要施設の耐震化**
配水池・管路の強靱化
- **有収率の更なる向上**
漏水防止対策の徹底

経営対応

- **受水費変動への対応**
経営シミュレーションの実施
- **段階的な料金改定**
R8年度の円滑な実施
- **健全財政の維持**
企業債と資金残高のバランス管理

体制整備・PDCA

- **人材育成と技術承継**
経験豊富な職員の活用
- **住民・関係者との対話**
情報公開と理解促進
- **定期的な評価と見直し**
ビジョンの進捗管理

パブリックコメントへの対応

お寄せいただいた主なご意見（論点）と、それに対する町の回答・対応方針

【ご意見】

耐用年数を超過したあとに管路更新をするのは遅い。更新計画の優先度はどうなっているか。

【回答・対応方針】

耐用年数のみで一律更新すると事業費が集中するため、耐用年数を目安としつつ、重要度や管種などを総合的に評価し、優先順位を付けて計画的に更新を進めます。

【ご意見】

水道事業の広域化は民営化ではなく、官主体で進めるべき。

【回答・対応方針】

広域化は人口減少などに対応するための有効な手法の1つ。町としては、基本は自治体主体としつつ、必要に応じて広域化を図ります。

【ご意見】

経営状況の情報公開と進捗管理（PDCA）の徹底を。

【回答・対応方針】

毎年度進捗状況を把握検証し、必要に応じて事業内容の見直しや目標の修正を行います。決算書や経営分析表を毎年度町HPに掲載いたします。

【ご意見】

料金回収率について目標値が現状よりも下回っているのはどうしてか。

【回答・対応方針】

料金回収率の目標値は100%以上としており、給水に係る費用を料金収入で賄う目標としています。料金回収率が過度に高い場合、料金収入が事業運営費を大きく上回るようになるため、継続的な上昇は想定していません。

答申案について

● 諮問書の内容

諮問事項

1. 与那原町水道事業経営戦略の更新について
2. 与那原町地域ビジョンの更新について

諮問趣旨

本町水道事業について、安全で安定した水の供給を将来にわたり継続するため、水道ビジョン及び経営戦略の見直しを行います。つきましては、住民福祉の向上と持続的な水道経営の観点から、貴委員会のご意見を賜りたく諮問いたします。

答申内容①

(1) 水道事業経営戦略の更新について

本経営戦略は、中長期の収支均衡、更新需要の平準化、災害対応力の強化を柱に水道事業の持続可能性が確保されていることから適当である。

答申内容②

(2) 地域水道ビジョンの更新について

将来にわたり安全・安定給水を継続するため、水需要の変化、施設管路の老朽化、人材確保等の課題を踏まえ、持続・安全・強靱の観点から、工程・優先順位・指標を備えた実行計画となっている。

答申案について（附帯意見）

●経営戦略・ビジョンの整合性と住民への説明

両計画については、人口・水需要の見通し、施設更新や耐震化の取組、財政見通しなどが相互に整合するよう整理するとともに、その考え方や前提条件を明確にし、住民に対して分かりやすい説明に努めること。

●管路耐震化の優先推進

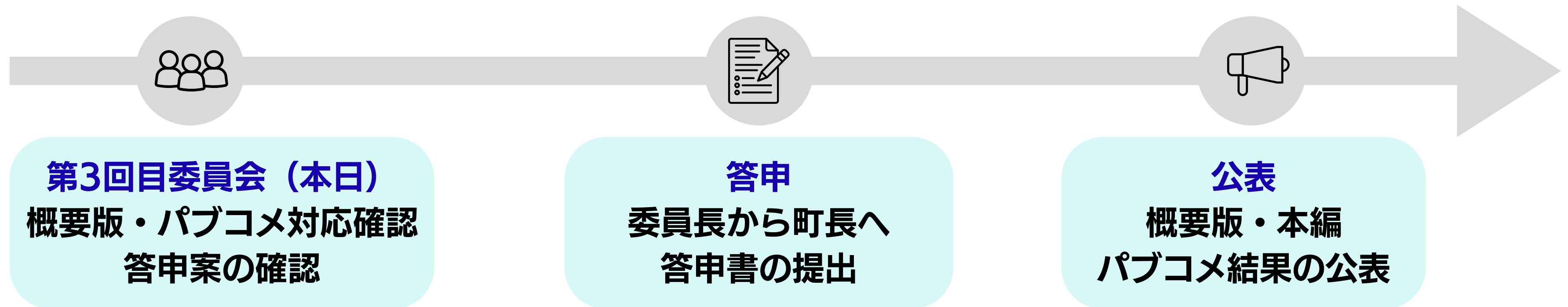
管路の更新・耐震化は、客観的基準により優先順位付を行い、計画的かつ重点的に推進すること。

●経営基盤の強化とPDCA

業務の効率化や外部活用等を含め、経営基盤の強化に取り組むこと。また、計画の進捗について毎年度点検・評価を行い、環境変化を踏まえた見直し（PDCA）を確実に運用すること。

今後のスケジュール

策定・公表フェーズ



実施・運用フェーズ

